



海事資料 FAX 短信

(財)日本海事広報協会

・事業第二部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580

ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail jo-ho@kaijipr.or.jp

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が最近発行した機関誌や海事関係資料の主な項目、海事団体のイベント情報などをご紹介します。

海のイベント情報等

・港湾政策研究所 講演会「東日本大震災がもたらしたものと、そして復興へ」

主催：社団法人 日本港湾協会

(社)日本港湾協会では、「東日本大震災がもたらしたものと、そして復興へ」をテーマとした講演会を下記の要領で開催します。

今回の大震災がもたらした被害、影響等を報告するとともに、今後のわが国の民生の安定、経済・産業の復興に向けた課題等を考える機会とする本講演会の内容は、下記のとおりです。

【日時】：平成23年5月19日(木) 9:30～12:30

【場所】：唐津市ふるさと会館アルピノホール
(佐賀県唐津市新興町2881-1)

【募集人数】：250名

【参加費】：無料

【テーマ】：「東日本大震災がもたらしたものと、そして復興へ」

【申込】：平成23年5月10日(火)まで

ホームページの申し込みフォームをご利用下さい。

(<http://www.phaj.or.jp/index.html>)

プログラムの詳細についてもホームページに掲載されています。

【連絡先】：(社)日本港湾協会 港湾政策研究所

〒107-0052 東京都港区赤坂3丁目3番5号 住友生命山王ビル8階

担当：中川さん (TEL：03-5549-9574)

機 関 誌 ・ 広 報 誌 等

<p>「海上保安新聞」4月14日号 東日本大震災 あの時そして今</p> <p>海上保安協会 03-3297-7580</p>	<p>「日造協」4月号 大競争時代を勝ち抜くために</p> <p>日本造船協力事業者団体連合会 03-5510-3161</p>
<p>「CAJS会報」No. 387 日本財団助成事業 進水式見学会並びに工場見学会を開催</p> <p>日本中小型造船工業会 03-3502-2965</p>	<p>「東京港」第254号 みなとを行き交う ふね・舟・船 警戒船「第5浩洋丸」</p> <p>東京都港湾振興協会 03-5500-2584</p>
<p>「港のたより」Vol. 96 室蘭港における先進国型シップリサイクル の取り組みについて</p> <p>寒地港湾技術研究センター 011-747-1688</p>	<p>「うなばら」4月号 中学校の授業で特別講師 船乗りの仕事と海運業の大切さをアピール</p> <p>商船三井 03-3587-7665</p>

日本海事広報協会の
旬刊紙「海上の友」

5月1号の主な記事

- ◆「SI養成講座」東京でスタート!!
(国際船員労務協会・全日本海員組合)
日本人海技者育成へ
- ◆新たに四つの支援策 (日本財団)
FM放送局に資金

◆内航協約改定交渉が妥結 (内航2船主団体・海員組合)

◆入賞者喜びの声 ジュニア・マリン賞
(海事広報協会) 他

「海上の友」購読料
年間10,323円
1ヶ月860円 (税・送料込)

日本海事広報協会の
隔月刊誌「LA MER」

5月/6月号の主な記事

- ◆〈特集〉北前船の湊はいま (日本海編1)
 - ・江戸・明治の物流の主役 北前船とは何か
 - ・金山と造船で栄えた湊 新潟県小木・宿根木
 - ・能登半島の風待ち湊 石川県・福浦
 - ・“日本一の富豪村”と言われた船主の里 石川県・橋立
- ◆小笠原諸島発見史 (外国船編) 浦川和男
- ◆新連載小説
レインボウ・オブ・オーシャン①
祖父江一郎

◆連載

- ・シーマン随想=終 原田統彦
- ・海族の系譜 山田吉彦
- ・「海の不思議」を追って 土井全二郎
- ・キャプテン佐久間のおもしろ海話II 佐久間誉
- ・越中島黒川研究室 黒川久幸
- ・わが国海運の戦後60年の歩み 山岸 寛
- ・名船発掘「開陽丸」「クプロリンツ・ウィルヘルム」 他

「LA MER」 定価700円 (税込)
・ご購入申込は、全国有名書店
又は弊協会まで。
・定期購読も承ります。